

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【公開番号】特開2010-248191 (P2010-248191A)

【公開日】平成22年11月4日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2010-92692 (P2010-92692)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

C 0 7 C 41/03 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

C 0 7 C 43/11 (2006.01)

C 0 8 G 65/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/86

A 6 1 Q 15/00

C 0 7 C 41/03

C 0 7 B 61/00 3 0 0

C 0 7 C 43/11

C 0 8 G 65/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月4日 (2013.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエーテルアルコールを使用して調製される化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤であって、前記ポリエーテルアルコールの調製に関して、

a) ポリエーテルアルコールの調製のための反応混合物中、生成するポリエーテルポリオールの総質量に基づいて、> 0 ~ 1 0 0 0 質量 p p m の濃度で D M C 触媒を使用すること、および

b) このようにして得られるポリエーテルアルコールを更に処理せず、D M C 触媒がポリエーテルアルコール中に残存すること、を特徴とする、化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 2】

前記ポリエーテルアルコールが、純粋なポリプロピレングリコールアルキルエーテルである、請求項 1 に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 3】

式 (I)

$R^1 - [O - (A)_n - (B)_m - H]_x$

(I)

(式中、

R^1 は、炭素数 3 ~ 22 の直鎖又は分岐鎖アルキル基であり、

A は、B とは独立して、同一の又は異なる、エチレンオキシ単位、プロピレンオキシ単

位、ブチレンオキシ単位、スチレンオキシ単位、シクロヘキシルオキシ単位、又は、エポキシド開環の結果としてグリシジル化合物から生じる単位であり、

B は、A とは独立して、同一の又は異なる、エチレンオキシ単位、プロピレンオキシ単位、ブチレンオキシ単位、スチレンオキシ単位、シクロヘキシルオキシ単位、又は、エポキシド開環の結果としてグリシジル化合物から生じる単位であり、

m は、0 ~ 20 であり、

n は、1 ~ 40 であり、

x は、1 ~ 6 の整数であり、

モノマー単位 A および B は、任意にブロック状の又はランダムな配列で一緒に結合される（得る）

の 1 つ以上のポリエーテルアルコールが存在する、請求項 1 または 2 に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 4】

前記ポリエーテルアルコールが、PPG - 3 ミリスチルエーテル、PPG - 11 ステアリルエーテル、PPG - 14 ブチルエーテルおよび PPG - 15 ステアリルエーテルからなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 5】

エモリエント剤、乳化剤および界面活性剤、増粘剤、粘度調整剤、安定剤、紫外線防御剤、酸化防止剤およびビタミン、ヒドロトロープおよびポリオール、固形分および充填剤、皮膜形成剤、パール化剤、デオドラントおよび制汗有効成分、エステラーゼ阻害剤、昆虫忌避剤、セルフタンニング剤、防腐剤、コンディショニング剤、香料、着色料、生理活性成分、ケア添加剤、過脂肪剤、および溶剤からなる群から選択される添加成分が存在する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 6】

前記製剤が、高粘度の液体から半固体、およびクリーム - 固体に至るものであり、スティック状化粧品に適した容器又はデオドラントロールオン容器又は噴霧ポンプ容器に入れて消費者に提供される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 7】

前記製剤が、さらに、化粧品添加剤、香料および / 又はフレグランスを含有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 8】

前記 DMC 触媒が、亜鉛およびコバルトを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 9】

ヒトの皮膚に塗布して、発汗の発生を低減するための、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の制汗製剤の使用。

【請求項 10】

ポリエーテルアルコールを含む化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤の調製方法であって：

a) ポリエーテルアルコールの調製のための反応混合物中、生成するポリエーテルポリオールの総質量に基づいて、 $> 0 \sim 1000$ 質量 ppm の濃度で DMC 触媒を使用すること、および

b) このようにして得られるポリエーテルアルコールを更に処理せず、DMC 触媒がポリエーテルアルコール中に残存すること、

によって、ポリエーテルアルコールを調製する工程；および

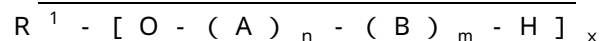
前記ポリエーテルアルコールを使用して、化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤がポリエーテルアルコールを含むように、化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤を調製する工程；を含む方法。

【請求項 1 1】

前記ポリエーテルアルコールが、純粋なポリプロピレングリコールアルキルエーテルである、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

ポリエーテルアルコールが、式 (I)



(I)

(式中、

R¹ は、炭素数 3 ~ 22 の直鎖又は分岐鎖アルキル基であり、

A は、B とは独立して、同一の又は異なる、エチレンオキシ単位、プロピレンオキシ単位、ブチレンオキシ単位、スチレンオキシ単位、シクロヘキシルオキシ単位、又は、エポキシド開環の結果としてグリシジル化合物から生じる単位であり、

B は、A とは独立して、同一の又は異なる、エチレンオキシ単位、プロピレンオキシ単位、ブチレンオキシ単位、スチレンオキシ単位、シクロヘキシルオキシ単位、又は、エポキシド開環の結果としてグリシジル化合物から生じる単位であり、

m は、0 ~ 20 であり、

n は、1 ~ 40 であり、

x は、1 ~ 6 の整数であり、

モノマー単位 A および B は、任意にブロック状の又はランダムな配列で一緒に結合され得る)

のポリエーテルアルコールである、請求項 1 0 または 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記ポリエーテルアルコールが、PPG - 3 ミリスチルエーテル、PPG - 1 1 ステアリルエーテル、PPG - 1 4 ブチルエーテルおよび PPG - 1 5 ステアリルエーテルからなる群から選択される、請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤を調製する工程が、エモリエント剤、乳化剤および界面活性剤、増粘剤、粘度調整剤、安定剤、紫外線防御剤、酸化防止剤およびビタミン、ヒドロトロープおよびポリオール、固形分および充填剤、皮膜形成剤、パール化剤、デオドラントおよび制汗有効成分、エステラーゼ阻害剤、昆虫忌避剤、セルフトニング剤、防腐剤、コンディショニング剤、香料、着色料、生理活性成分、ケア添加剤、過脂肪剤、および溶剤からなる群から選択される添加成分を使用することをさらに含む、請求項 1 0 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤を調製する工程が、化粧品添加剤、香料および / 又はフレグランスを使用することをさらに含む、請求項 1 0 ~ 1 4 のいずれか一項に記載の化粧品製剤および / 又は皮膚用製剤。

【請求項 1 6】

前記 DMC 触媒が、亜鉛およびコバルトを含む、請求項 1 0 ~ 1 5 のいずれか一項に記載の方法。